

SSMを用いた動画生成モデルのシミュレーション

東京大学大学院 工学系研究科 氏名 大島佑太

目的 動画生成にSSMを用いた場合の挙動を確認する.

内容 動画拡散モデルを学習する.

結果 SSMsを用いた場合, 既存の動画生成モデルよりも計算効率
が良かった.

利用した計算機	SQUID 汎用CPUノード群
ノード時間	120 * 約20 時間
使用メモリ	320 GB
並列化	1ノード 並列



図 (シミュレーション結果)